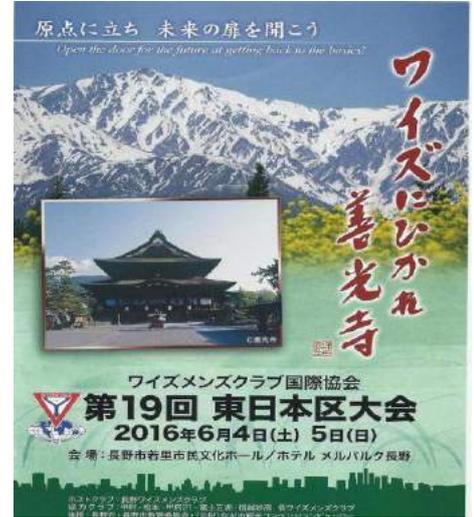




とつか

2015年11月会報 第253号

- 2015 国際会長(IP) Wichian Boonmapajorn (タイ)
- 主 題 “Mission with Faith” 「信念のあるミッション」
- スローガン “Count Your Blessing” 「恵みを数えよう」
- アジア地域会長(AP) Edward K. W. Ong (シンガポール)
- 主 題 “Through Love, Serve” 「愛をもって奉仕をしよう」
- スローガン “Let it Begin with Me” 「まず自分から始めよう」
- 2016 東日本区理事 渡辺 隆(甲府) 「原点に立って、未来へステップ」
- 湘南・沖縄部部长 今城 高之(横浜つづき)「一人ひとりが愛と平和の種をまこう！」
- クラブ会長 吉原 訓 「ゆっくり・楽しく 社会に奉仕」
- 副会長 浦出 昭吉 書記 若木 一美 会計 小俣 妙子
- メネット事業 吉原 和子 担当主事 長田 光玄



会長ひと言

吉原 訓

～ワイズの心を一人でも多くの人に～

関わりをもつ代議士のパーティでのことです。集まったおおよそ1,000人の方々の前で 本人は、「出張で地方に出掛け時、財布を落としてしまいました。議員証は入っているし運転免許証や相当な現金も入っていましたので、大変困りました。あきらめ半分で 交番に届け出ておいた処、幸いにもそっくりそのまま交番に届けてくれた人がいました。諸外国に較べ 日本は 安全な国だとつくづく思いました。…」と話し出しました。

確かに 日本は 東アジア諸国の中では、車は 整然と走っていますし、スリもヨーロッパ諸国より少ないようです。(ただし、ヨーロッパ諸国のスリは 欧州外から入り込んだ者、という説もあります。)

横浜市内で 大型マンションが傾く事件が報道されています。これは 熟練工が少なくなったとか、たまたまミスとかいうような なま易しいものではありません。自分は何を造っているのか、自分の役割は何か、という基本的な意識の欠如と言わざるを得ません。

日本は幸せな国なのでしょうか…、残念ながら 世界の国々の中で その順位は決して高くないと思います。

人はなぜ生きるのか、どのように生きるのか、残された年月の少ない私たちだからこそ、ワイズの心を一人でも多くの人に伝えたいものです。

◎今月の聖句◎

イエスは言われた。『心を尽くし、精神を尽くし、思いを尽くして、あなたの神である主を愛しなさい。』これが最も重要な第一の掟である。第二も、これと同じように重要である。『隣人を自分のように愛しなさい。』律法全体と預言者は、この二つの掟に基づいている。」

—マタイによる福音書22章37～40節—

このみ言葉の前の部分で、ふと中国の古諺「人事を尽くして、天命を待つ」を思い出しました。そして後の部分は、いうまでもなく 私たちの信条の一番目にある言葉そのものです。‘自分を愛するように、隣人を愛そう’。

強調月間 **ワイズ理解**
ファミリーファスト

1928年11月10日は日本で初めてワイズが誕生した日です。この日はチャーター第1号の大阪クラブ誕生(チャーター)の日で、これを記念して区では今月を**ワイズ理解の月**と決めております。

次に**Family Fast**、これは**TOF**の国内版(¥500円以上)、**STOP! HIV/AIDS運動の原資**として活用されます。

それでは ついでに**TOF**について説明しましょう。

Time of Fast、直訳すれば「断食の時」と言われ、飢餓に苦しむ人たちを支援するため、区では2月の例会の食事を抜きにしてその金額を献金しようと国際が呼び掛けている奉仕活動です。そのため、2月が**TOF**強調月間になります。

10月在籍者数	10月出席者数	出席率	ファン	B	F	B	F	CS・TOF・Y E S	ロ	バ
メ ン	11	メ ン	10	91%	他	(円)	(g)	A S F	(円)	(円)
メネット	2	メネット	4		前月迄	0	0	0	0	8,950
		ゲストら	4		当 月	0	0	0	0	0
計	13	合 計	18		累 計	0	0	0	0	8,950

★強い義務感を持つよう 義務はすべての権利に伴う★

☆第1例会報告☆

吉原 訓

日 時：2015年10月3日(土) 18:30~20:30

場 所：湘南とつかYMCA 404号室

出席者：(ゲスト)宮澤 彩さん(YVLF参加・水泳リーダー)

星野恵介さん(オルタナティブ事業主任)

阿部正伴さん(アフタースクール事業主任)

森脇倫子さん(ウェルネス・インストラクター)

(メン)浦出・長田・加藤・川津・佐藤・土方・吉原・若木・渡辺

(メネット)杉本・加藤 以上15名

年1度くらいは私たちの足元を見よう・学ぼうと地元湘南とつかYMCAの事業責任者の方々のお手を煩わし、その事業

の状況や問題点などを伺い、また先ごろ開催されたユースボランティア・リーダーズフォーラム(YVLF)に参加したリーダーにもお出ましを願い、その報告を聴く例会となりました。

まず 長田担当主事から健康教育事業についてPC画面に映し出しながらのお話し、次いで星野主任からオルタナティブ事業・発達障がい支援プログラムの内容やクラスについて、更にアフタースクールの阿部主任からは、11の学校別学童クラブの状況等についての説明がなされました。

これらの中で、特に印象に残ったのは、星野主任の発達障がい支援プログラムについてでした。ADHDと呼ばれる対象者は、不注意性・多動性・衝動性があり、いわゆる‘トライアングルクラス’(STEP)やLDと自閉症スペクトラムとの関係を



見極めながら、これら子どもたちに合った支援を行っており、現に彼らの就労等を見据えたライフスキルトレーニングクラスの実施に移っているとの話で、スタッフの並々ならぬ努力とスキルに脱帽したひと時でした。

卓話の終わりは、9月11日から13日にかけて山中湖センターで開催された第28回YVLF(ワイズ)が全面的にサポートに参加された宮澤さんからの報告、基調講演は「今リーダーに求められていること」のテーマでユースリーダーOBの篠田秀樹さん(東京江東)、ユーモアを交えた語り口に自分を含め34名のリーダーたちは大いに感ずるところがあった由、篠田さんには 前々期区会計当時、クラブで卓話を頂いたことや厚木大会準備の際に種々有益なアドバイスを伺ったことなどを思い出しながら、聞き入りました。

諸連絡事項やハッピーバースディなどがあって、一同記念写真に収まり、定刻に閉会点鐘となりました。



☆今年も‘YOU & I コンサート’に☆ 加藤 利榮

‘あなたとわたし 障がい児・者とともに’のサブタイトルのもと、地域のNPO法人とともにつつきクラブが主催するこのコンサート、今年も10月3日(土)14時から都筑公会堂で開かれ、舞台近くにはいつものように車イスのための特別席も用意され、東日本大震災のあった11年以来数えて5回目、ともすれば敷居の高くなりがちなクラシックコンサートに‘みんなが集い 全身で音楽を楽しむことができるバリアフリーコンサートを’という主催者の熱い思いがにじみ出たひと時を十分に味わい 楽しむことができました。

演奏は、こうした催しに積極的に賛同し 良き理解者でもある横浜室内合奏団と室内歌劇団の皆さん、20分の休憩を挟んで、前半はストラヴィンスキー作曲の‘イタリア組曲’など7曲ほどの

器楽合奏、次いで後半は‘桃太郎’と題した日本のおとぎ話を題材にした大変理解しやすいオペラ、その後‘花は咲く’を全員で

合唱し 大きな拍手のうちに終わりました。

そしていつものように 障害者の代表から感謝のプレゼントの品々が出演者全員に贈られ、終わりは つつきクラブの会長から閉会のご挨拶があって 盛んな拍手のうちに幕となりました。



☆金沢八景が10周年を祝う☆

浦出 昭吉

10月24日(土)の17時から、10年前にチャーターナイトを開いたホテルの直ぐお隣のペイシェラトン・ホテルで 金沢八景クラブ設立10周年を祝う会合があり、加藤ワイズと参加しました。

会場には50名ほどのお客さんが指定されたテーブルに着き、第1部の式典は、渡辺隆区理事や今城高之部長らによる祝辞と峯尾舜10周年実行委員長の謝辞などがあって終わりました。

引き続き、第2部の祝宴に入り、利根川恵子次期理事から祝辞を頂戴した後、剣舞と日本舞踊のお祝い演技を觀賞、そして、

乾杯に移りました。ここでは、浅見隆夫元区理事を中に、クラブ設立に関わった加藤委員長と私も前に出て、共に祝杯を挙げました。十分な飲物と目の前に次々と運ばれてくる料理に 日ごろの交わりがどっと湧き起こった感じで、旧交を温め合ったり 10年の思い出に花を咲かせたりで、ムードは最高潮に達しています。頃合いあって、山田一男ワイズの閉会の辞をもって 拍手のうちにお互い挨拶を交わし、熱気の残る会場を後にしました。



【随想】 ☆睡眠と脳の関係について☆ 川津政義

現代は今までにないほど健康とか病気について話題になる中で、今回は睡眠について皆さんとともに考えてみたいと思います。

ご承知のように、一日のほぼ 1/3 を費やす睡眠は日常生活と密接な関係にあります。睡眠について考える場合、大方は脳に関係するといわれており、その理由の一つは 脳科学の進歩によって ‘睡眠’ の果たす役割が次第に認識されてきたこと、もう一つは 現代社会の生活様式が 睡眠を慢性的に犠牲にするようになり、その結果、身体の内外に様々な影響をもたらしています。

脳科学の面から見ますと、睡眠は 脳を持った生命体に特有の生理機能があり、生存のための戦略であり、脳の働きは コンピューターのような 同じレベルでの活動は常には続けられないといわれますが、見方によっては無限の可能性を秘めているとも言えましょう。したがって、意識水準は 絶えず揺らいでおりますから 質の良い—中味の濃い—睡眠があって初めて脳は高次の情報処理機能を発揮することになります。

このようにして 人間には 睡眠の果たす役割は必要不可欠、かつ重要といえましょう。さらに 睡眠は、精神（心）や学問や記憶の問題へと及んでいきます。また、昨今 話題になっている ‘認知症’ の発症とも密接に関係しているようです。

皆さん、お暇の折に パソコンのインターネット辺りを参考に、‘すいみん’ について考えてみられてはいかがでしょうか。

☆大宅映子さんのお話から☆

吉原 和子

10月13日(火)18時30分から開かれた東京クラブの例会に評論家の大宅映子さんが講演されると聞き、加藤・小俣両リズと参加してきました。



会場の1階のレストランはほぼ満席の状態、30名を超すゲストを含め参加者は総計108名とか、開会セレモニーと会食の後、紹介されて登壇された大宅さん、首に掛けられた長めのストールがよくお似合いです。『ヒトは日本にとって唯一最大の資源 どうしたら強い個が育つか』のテーマでタプリー1時間、要旨を箇条書きに書いてみました。

- ◎ 生い立ちは 父大宅壯一と母からの影響があった。
- ◎ 幼少期は 父の仕事柄、新聞を各社(5社)取っていたので 同仕事柄も新聞によって書き方が違っていった。物事を‘正面’ ‘斜め’ ‘裏’ からと見なければ 真実は見えてこない。
- ◎ 平等の ‘はき違え’ ‘違い’ を認める。ただし 入口は ‘平等’ でなければならぬ。
- ◎ すべて ‘平等’ では 強い ‘個’ は育たない。
- ◎ 少し ‘変わった人や個性の強い人’ が世界・世の中を変える。
- ◎ ‘都市’ と ‘地方’ の差、あってよい、‘地方’ をすべて都市化にしてはならない。
- ◎ ‘安全’ と ‘安心’、100%は有り得ない、原発がその例だ。
- ◎ ‘教育’、すべて平等教育ではリーダーは育たない。
- ◎ ‘メディアの責任’、視聴率ばかりを気にしている。

☆薄日も漏れたチャリティランに☆ 若木 一美

第18回を迎えた横浜YMCAチャリティラン、17日朝5時半に起きてみると外は「雨」、そういえば 今城委員長、アメオトコとご自分で言っていました。6時10分 パソコンのスイッチ・オン、画面には「開催します…」 えっ！ もう一度見ても同じでした。

スタッフ集合の8時、合羽を着た関係者が粛々と準備を進めています。でも強い雨！ 今城委員長の必死の祈りと田口総主事の「ハレルヤ」合唱が天に届いたか、開会式の始まる頃には 薄日も差してきました。

今年は123チームの申込み、欠席5チーム、開会式はお馴染み 井筒女史の名司会でスムーズに終了。10時45分、幼児中心のCコースのスタート、11時半頃には最多チーム数のBコースがスタート、車イスや外国からの「はるばるきたチーム」などなど…。そして正午頃にはシューズやランニングフォームの異なる本格派揃いのAコースがスタート、今年は副実行委員長として 初めてスタート地点に立ちましたが、A・B・C それぞれが特色を出し それがこの事業の醍醐味かな…と思いつつスタートのピストルを鳴らし、また、閉会式では、閉会挨拶を職責により務めました。

抽選会では長田主事がスポンサー賞のタブレット、大当たり、彼の周りには人垣が…。

さあ 来年は委員長トカ…？ 皆さまのご支援・ご協力をお願いいたします。

☆京都AIDS文化フォーラムに参加して☆ 小俣 妙子

前日のバクダン低気圧の物凄い雨・風・雷で心配でしたが、10月2日朝、新幹線で小田原を過ぎる辺りからお天気にも…、大阪駅で姉たちに迎えられ、両親のお墓参りなど済ませました。明けて翌朝 早々にフォーラム開催場所の京都同志社大学新町キャンパスに…。

第1日目、開会イベントの後は生島嗣先生(特定非営利活動法人ふれいす東京)による基調講演、引き続き「HIV陽性者を取り巻く環境に関する報告」などがあり、現実の厳しさを実感させられたひと時でした。また、私の出た分科会では、横浜に引き続き 平良愛香先生のお話を聞き、さらに「宗教とAIDS」では、キリスト教(教団、カトリック)の牧師や僧侶の皆さんと医師岩室紳也先生とのやりとりでは、例により興味を引く語り口で会場を沸かせました。

第2日目、まず畠山先生の「免疫力の低下を防ごう」と題したお話では、すべての病気にもリンパマッサージが大事と教えられ、こちらは帰宅後も実践中です。その後、二つの分科会に出て、閉会式に臨みました。

今回も多くの方々と再会したり お知り合いになったりで幸せでしたが、連日、大阪・堺から2時間半かけ京都に通うのは やはり少し苦痛でした。

私が2日間に参加できた分科会は、45以上あるうちのほんの一部でしたが、今やエイズについては余り取り上げられません、もっと多くの人の理解と支援が必要と思いました。

☆YMCA だより☆

長田 光玄

～ユース世代の活躍サポートに感謝～

10月3日(土)の横浜とつかワイズメンズクラブの例会において、9月11日(金)～13日(日)に東京YMCA山中湖センターで行われた「東日本YMCAユースボランティア・リーダーズフォーラム」に参加した湘南とつかYMCA所属のユースリーダー宮澤彩さんが出席して報告の機会をいただきました。

宮澤さんは今年の4月より水泳のリーダーとして活動をしています。今回、参加して東日本地区のYMCAの同じユースリーダーと出会い、新しい気づき、これからの活動につながる多くの学びがあったと報告されました。

今回の参加に当たっては東日本区のワイズメンズクラブの支えがあることも理解し、報告の最後には感謝の言葉を述べていました。現在、ユースリーダーの育成にYMCA全体で取り組んでいます。YMCAのYを育て、活気あふれるYMCAとしていきたいと思ひます。



☆今月の歳時記から☆

‘冬浅し ふゆあさし’ と ‘枯野 かれの’

‘冬浅し’、立冬は過ぎたものの、まだ草紅葉も穂芒も残っています。枯れていく蘆や蓮がしきりと目につく頃です。寒さはさほど厳しくはないのに、収穫のすんだ田畑をみるにつけ、にわか冬めいた姿に驚くことがあります。

つるもどきこぼるゝ芝や冬浅し	十二星
冬浅き雲の動きに樵(きこ)りけり	青雀風
冬浅し遠き風景詩に似て	綾子
釣り人の佇む疏水冬浅し	正弘
冬浅しむしろの上を猫の丈	孝子

次に‘枯野’、草は枯れ 虫の音も絶えた冬の野は蕭条(しょうじょう)たる眺めとなります。枯野の景は様々で、海沿いの野、白々と街道の連なる野、また 雨の枯野、夕づく枯野など、それぞれに趣きがあります。荒涼とした景とは言い、やがて訪れる芽吹き(めがひき)の季節を待つ姿でもありますね。

旅に病んで夢は枯野をかけ廻る	芭蕉
大とこの養ひりおはす枯野かな	蕪村
枯野にて悲歌奏(うた)でいづ宣伝車	移公子
吾が影の吹かれて長き枯野かな	漱石
八方に山のしかかる枯野かな	たかし

☆11・12月の行事予定 ☆

- ▶11/2(月) Y祭 ‘のみの市’ 値付け(13:00～・とつかY)
- ▶11/3(火) Y祭(8:00～ 湘南とつかホール)
- ▶11/17(火) 第2例会(18:30～・湘南とつかY 204号室)
- ▶11/28(土) 区メネットの集い・ハートピア熱海・5000円
- ▶11/30(月) 湘南とつかYMCA運営委員会(18:30～・404号室)
- ▶12/12(土) 戸塚区民X'mas: 湘南とつかYMCAホール
- ▶12/15-16 とつかクラブ初島研修旅行
- ▶12/17(木) 全Y X'mas: 湘南とつかYMCAホール

～11月の会合のご案内～

第1例会: Y祭・のみの市 に振替え

前日の‘値付け’を含め、第1例会に振り替えます。

第2例会: -

11月17日(火) 18:30～・204号室

協議・事務連絡がありますのでご出席願ひます。

～Happy Birthday～

若木 一美ワイズ 11月28日

浦出 瑞江メネット 11月29日

【掲示板】

会長

- ◎ いつも御殿場クラブの井田伸太郎ワイズから 折々の話題を写真にして送って頂ひております。今回は10月12日(月)の『富士山初冠雪』です (当日・朝7:15写)。



◎ 今年度「区メネットの集い」から

‘おいしく、楽しく、そして話し合い’をテーマに11月28日(土)の午後「熱海」で開かれ、会合の後には隣接するMOA美術館の見学が予定されております。なお同館では20日から、特別展「琳派の美 光悦・宗達から抱一まで」を“琳派400年記念”に因み開催中とのことです。

【注記】琳派: 金箔を背景として動植物を題材に 装飾的な作風で知られる様式をいい、京都の書家本阿弥光悦と絵師俵屋宗達はその始祖。更に1世紀後に江戸の酒井抱一が光琳を模写する形で継承・発展させたといわれる。

(後記)

今、例年の事ながらY・Ysの様々なイベントが目白押しですね…。

(TK)